

## 《学校教育目標》 <自ら> 求め 鍛え 高め合う

### 【第2次東白川村教育ビジョン 方向と具体的方策】

～少人数時代に即した、東白川ならではの授業づくり～

- ・生徒一人一人の学力を確実に高める指導
- ・ふるさととのかかわりを大切にした個別探究、課題解決型の指導
- ・学力定着を支える家庭・自主学習の充実

### 生徒の実態

- ・単元出口を明確にすることで、生徒自身が見通しをもち主体的に単位時間ごとの学習に向かう姿が増えた。
- ・課題解決に向けて粘り強く取り組む力がついてきた一方で、うまくいかないときに修正したり、知識を自分で活用して課題解決したりする力が弱い。
- ・教え合いをする姿が増えた一方で、課題解決に向けて自分の考えを仲間に表現し、仲間とともに考える姿が少ない。

### 願う生徒の姿

『多様な学びを通して、学ぶ楽しさを実感し、自ら学びに向かうことができる生徒』

これからの社会をたくましく生き抜くためには、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して解決していかなければならない。そのため、粘り強く追究したり、仲間との学び合いを通して自分の考えを深めたりしながら、自らの思考力を育み、より良い結論を導き出そうとする力を育成する。多様な学びを通して各教科の見方・考え方を身に付けることで、学ぶ楽しさやおもしろさを実感し、自ら学びに向かおうとする生徒の姿を強く願い、本研究の実践を行う。

### 研究主題

**学ぶ楽しさを実感し、自ら学びに向かう生徒の育成**  
～深い学びを生み出す授業づくり～

### 研究仮説

単元を通して目指す生徒の姿を明確にし、その実現に向けた単元構想を工夫することで、生徒が課題解決に向けた意欲や憧れをもつことにつながり、主体的な学びを生み出す。また、単に知識の獲得のみならず、生徒が知識や様々な見方・考え方を駆使しながら考えを広げたり、深めたりする学習活動を工夫することにより、より質の高い資質・能力の育成を図る深い学びを生み出していく。こうした深い学びを生み出す指導により、生徒は学ぶ楽しさを実感し、「もっとできるようになりたい」という自ら学びに向かう生徒を育成することができると思う。

#### 【研究内容1】

#### 主体性を育むための単元構想

- (1) 単元出口の姿（活動）の明確化
- (2) つながりを意識した単元指導
- (3) 自己の学びを振り返るための工夫

#### 【研究内容2】

#### 思考を深めるための指導

- (1) 自らの考えを豊かに表出できる場の工夫
- (2) 思考を深める発問の位置づけ
- (3) 学び合いの工夫